

那覇西ク 男女優勝

仲田杯ハンド

ハンドボールの仲田豊順杯争奪第11回沖縄クラブトーナメント最終日は28日、八重瀬町東風平体育館で行われ、那覇西クラブが男女とも制した。那覇西ク男子はCOREを41―22と圧倒

し、2年ぶり4度目、女子はシールズAを34―20で下し3年ぶり7度目の優勝。

▽男子準決勝

CORE 25 (10 | 12 | 2 | 24) パームヒルズク

▽同決勝

那覇西ク 21 (10 | 11 | 12 | 20) B I C

那覇西ク 41 (23 | 11 | 11 | 22) CORE

▽女子準決勝

那覇西ク 30 (15 | 7 | 13) F U C O
シールズA 29 (15 | 13 | 12) レキオク

▽同決勝

那覇西ク 34 (17 | 17 | 13) シールズA



男子 若手奮闘 層に厚み

○：男子那覇西クは、準決勝で前回優勝のB I Cを1点差で下した勢いそのまま、決勝でCOREを41―22の大差で退けた。エース宮平淳司が仕事の都合で出場できない中、若手が踏ん張った。センターの友利彬彦主将を182センチの長身・喜友名翔太(22)と打点の高い中村開(23)が支え、G K嘉陽宗亮(23)が最後のとりでを守った。

友利主将は「エースがいない中で優勝できたのは大きい」と今後の伸びしろに期待。中村は「先輩たちがコントロールしてくれて、ベンチワークも良かった。勝てる力を持っているのが分かった」と、連覇に向けて自信を深めた様子だった。

男子決勝 那覇西クラブ―CORE 前半、那覇西クラブの中村開が高い打点から12点目のシュートを決める―東風平体育館 (古謝克公撮影)

女子 速攻にさえ

○：女子那覇西クは、過去の対戦で相性が良いシールズAに対して序盤から速攻や積華菜のポストプレーなどでリードを奪い、そのまま逃げ切った。

「自分が空いている時をみんなが見ているので、パスしてくれた」と積。國川友希主将は「今日はベンチも明るく、みんなで点を取った」と納得の様子だった。

それでも相手の主力が本調子でない中で、守備を変えられた時に攻めあぐねた点などを反省し、来年2月の総合選手権、4月の一般選手権であらためて完全優勝を誓う。



女子決勝 那覇西クラブ―シールズA 前半、ディフェンスの隙をついて中央から16点目のシュートを決める那覇西クラブの國川友希―東風平体育館